

8

めいろ⑧

がつ	
にち	なまえ

かたへのおうちの

もう一度やってみる場合は、クレヨンや色えんぴつなどを使って線を引いてもよいでしょう。すこし先を見て線を引くようにすると、スムーズに進めるようになります。終わったら、「じょうずに最後まで進めたね」などと、おおいにほめてあげましょう。

ろけっと (🚀) から、ろけっと (🚀) へむかってせんをひきましょう。



27

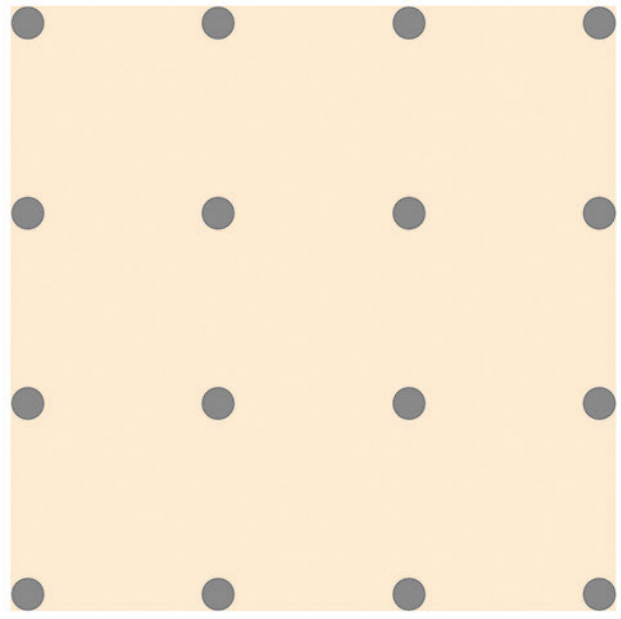
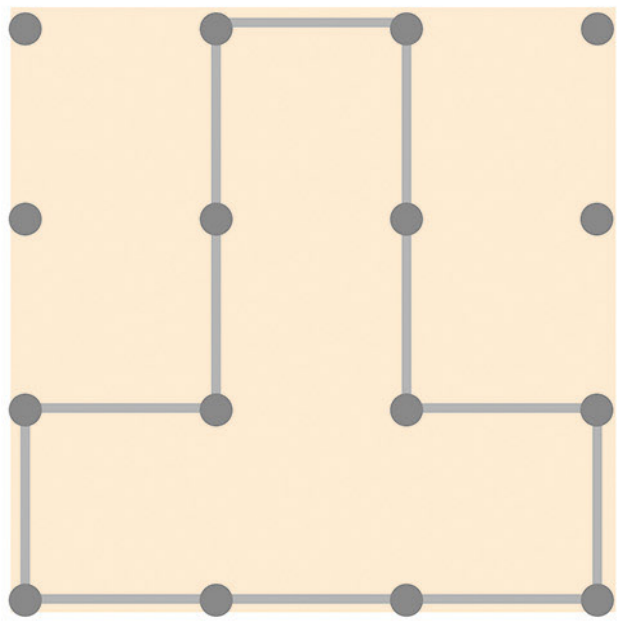
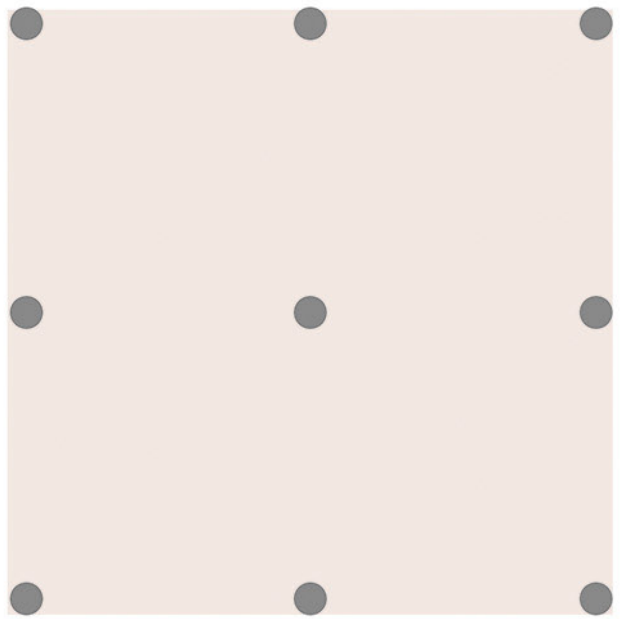
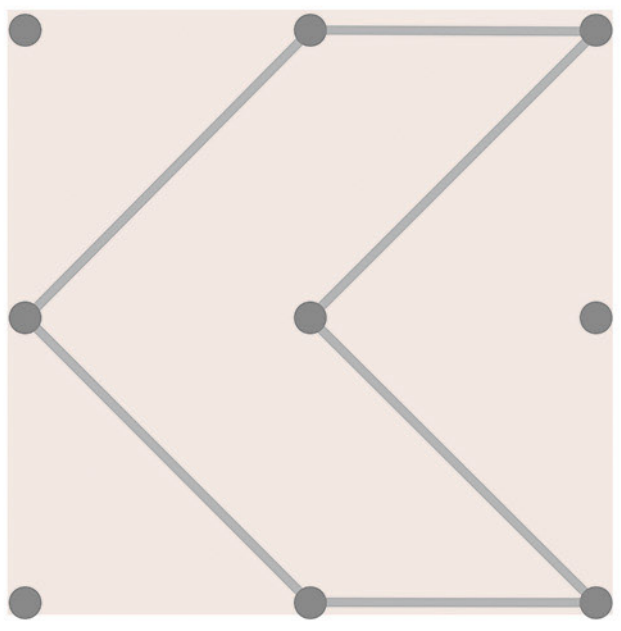
てん びょうしゃ③



か
お
た
へ
の
ち

点の数がふえて、よりむずかしくなります。書きはじめる前に、お手本の形をよく見たり、指でなぞってみたりすると、取りくみやすくなります。

おなじ かたちを かきましょう。どこからはじめても かまいません。



13

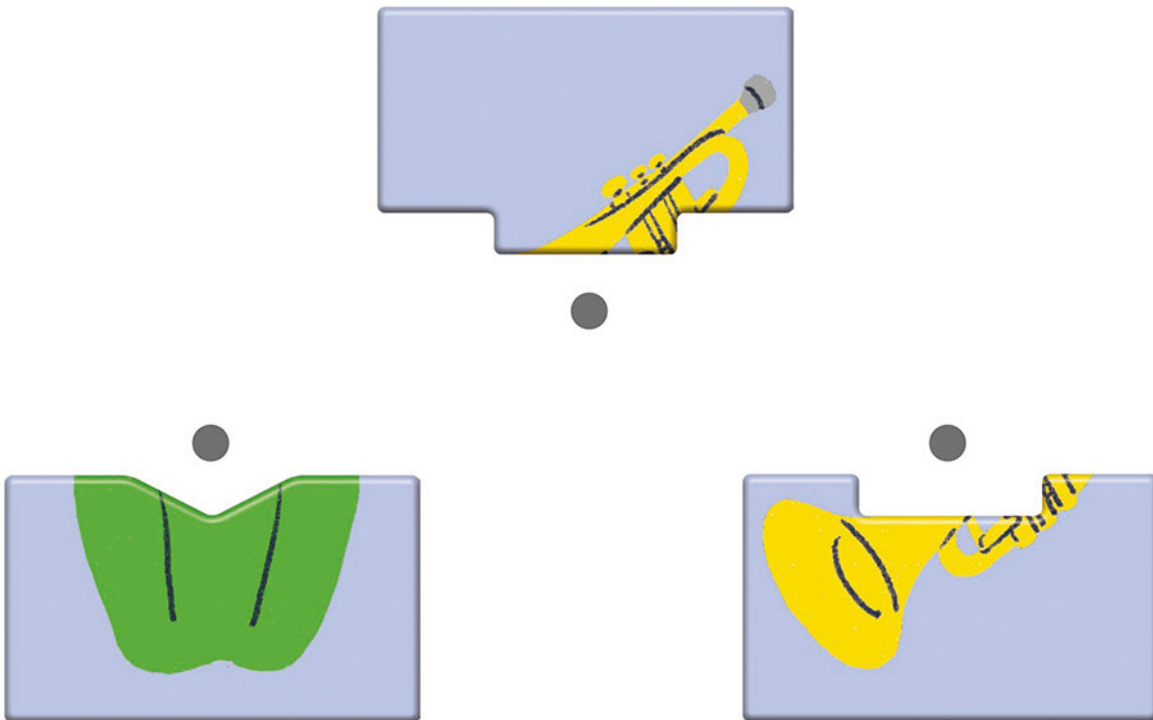
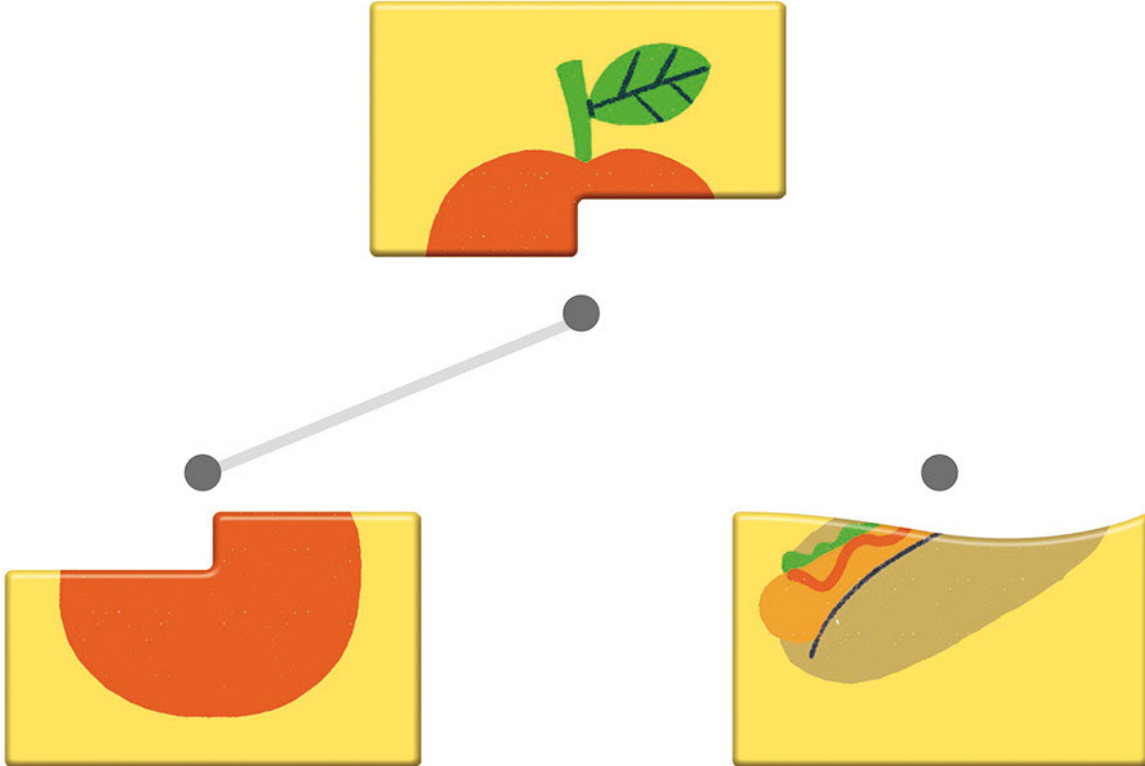
ジグソーパズル①



か
お
う
ち
の

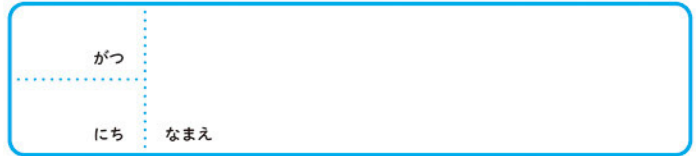
形に注目する問題です。まずは問題文を声に出して読んであげましょう。ピースを指さして、「どちらをくっつけたら、ぴったりはまるかな？」などと声をかけ、ピースの形をよく見るように、お子さまを導いてあげましょう。ピースのなかの絵もヒントになります。

かたちがあうものを せんで むすびましょう。



19

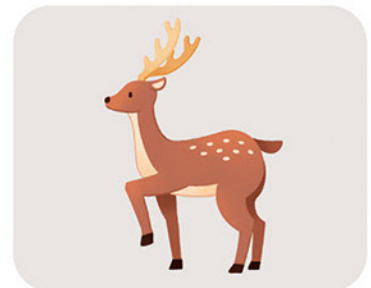
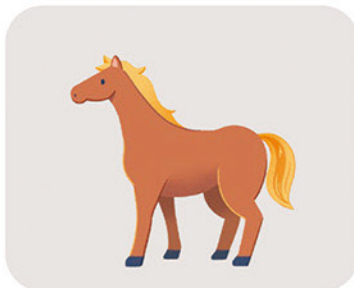
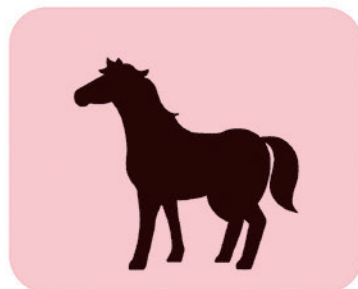
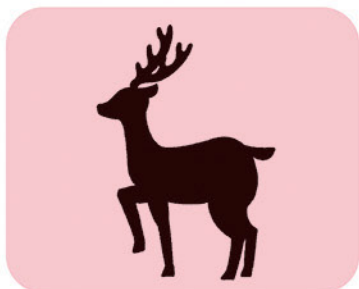
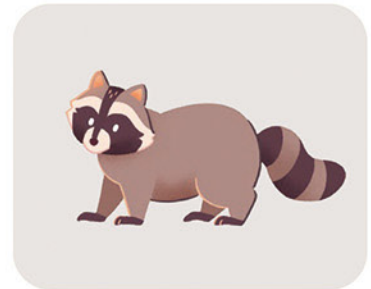
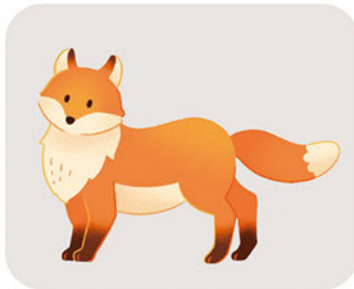
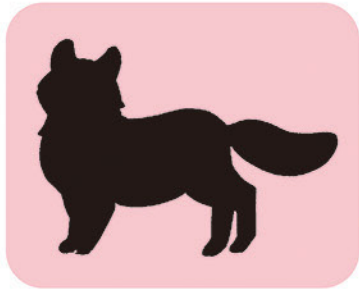
かげえあわせ③



か
お
う
ち
の

合わせる絵の数がふえます。上の段の絵と合うものを、ひとつずつ探すように、お子さまを導いてあげましょう。お子さまがなやんでいるようでしたら、「それぞれ背中
の形がちがうね。上の絵と同じ形なのはどれかな？」などと、声をかけてあげましょ
う。しっぽや足の形など、一部分に注目してみるとよいでしょう。

おなじかたちのえを せんで むすびましょう。



34

うえからみた
かたち②



か
お
う
ち
へ
の

大きなものや、身近にないものを真上から見た形を想像して答えます。お子さまの手が止まってしまっているようでしたら、「ゆきだるまの体はどんな形をしているかな?」「頭と体では頭のほうが小さいから、どう見えるかな?」などと声をかけてあげましょう。

うえからみるとどうみえるかをえらんでまる（○）をつけましょう。

